

校長研修だより33

二者面談（教育相談）

2021・11・11 重枝 一郎

6・24の朝の礼拝での校長講話を覚えているだろうか。

学校生活を1年間というスパンで見ると、学級の雰囲気が悪くなる危機が起こりやすい月というのがあります。それは、6月と11月です。これは、「魔の6月」、「11月危機」という異名をもちます。6月の場合、その後1か月ほどで1ヶ月強の夏休みということもあり、先生も生徒もいったんリセットした上で2学期の始業式を迎えることができるので、V字回復する確率は高くなることもあります。11月の場合、V字回復するためのリセット期間が短く、11月に学級が危機に陥ると、そこからV字回復することはかなり難しいということになります。・・・

私は、年間計画の中に6月と11月には「教育相談週間」を設定したいと考えている。そこは、平野生徒指導部主任とも話していこうと思う。本年度は、6月は学年主任会で「二者面談」を教頭からお願いしてもらった。最近では、ある学年は生徒の状況を見て「二者面談」をしたという話も聞く。

今号は、福岡市で一斉に実施している二者面談での質問紙を紹介する。質問は4つである。面談後は、学年会で報告・具体的対応協議（生徒・保護者との継続的な面談、定期的な声かけ、学級・学年活動での取組、家庭訪問、オンラインでの面談等）になる。ケースによっては、生徒指導委員会、SC連携、教育相談コーディネーター連携になる。

【4つの質問】

- ① よく寝ることができていますか？
- ② 友だちや家庭のことなどで相談したいこと（何か気になっていること）はありますか？
- ③ （今は相談したいことがなくても）相談する際は誰に言うか決まっていますか？
- ④ 〇学期の目標（生活・学習）は決まっていますか？

面談の際の見立てを説明すると・・・

① よく寝ることができていますか？

- ◆睡眠は最も有効なストレス解消法。特に0時までの睡眠時間が有効だと言われている。
- ◆寝ているのに遅刻が多いような場合、「もっと早く寝るように」ではなく、「起きている時間の活動や充実感を増やす」。日常生活の楽しいこと、ワクワクすることなどを質問して強化する。

◆日常生活のルーティンが気力ややる気をつくるので規則正しさは無気力を防止する。

② 友だちや家庭のことなどで相談したいこと（何か気になっていること）はありますか？

- ◆学年が上がると「特にありません」ということが増える。そんな感じがしたら「相談」という言葉を「何か気になっていることはある？」に代えてみる。
- ◆「ある」と答えた場合「それは何？」と聞くとと思うが、それと同じくらいに大切なこととして「そのことが気になっていると家族や友だちに知ってほしいか？」をさりげなく聞く。知ってほしいということは解決できると思っていて、知ってほしいと思わないということは解決できないと感じている。

③（今は相談したいことがなくても）相談する際は誰に言うか決まっていますか？

- ◆相手が出てきたときは、「よくするの？」「よくきいてもらえる？」「それはとてもラッキーなこと」などのやり取りをすることで「相談してみようかな」という気持ちが膨らむ。
- ◆出てこないときは、「誰かいるといいね」「言葉にすることはとても大事」「ひとりごとでもOK」などのやり取りをすることで「話してみようかな」という気持ちが高まる。

④ ○学期の目標（生活・学習）は決まっていますか？

- ◆大きなことが出てきたら小さなことを聞いて、小さなことが出てきたら大きなことも聞いて、深めたり広げたりする。

【面談者の感度は大切】

生徒の表面的な状況	生徒の内面的予測
「返答に困っている」	「実は話したい内容がある」
「無表情・無反応」	「信頼関係がないから相談する気がない」 「触れられたくないことをもっている」
「元気な感じで特にないです」	「深く考えていない日常生活」 「悩みのない自分が好き」 「充実している」